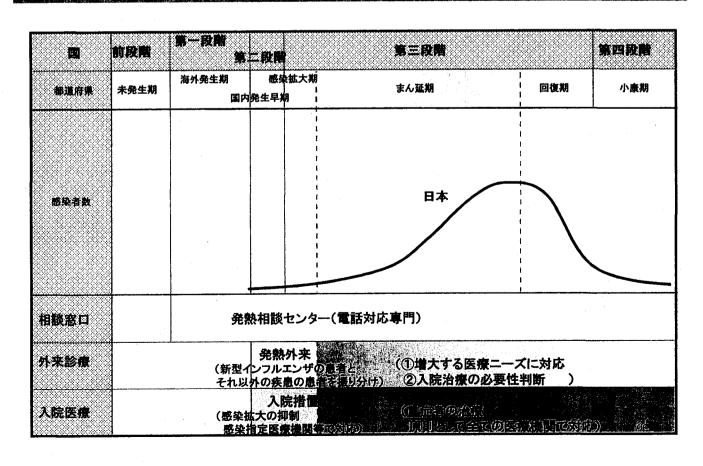
### 医療体制の概要

	4月 5月	6 <i>)</i>		10月	11月
	4/28 5/1 基本的対処方針 数本的対処方針 取別 数 1 版 1		/19 運用指針改定版	10/1 基本的対処方針(三訂版)	
発熱相談センタ	4/28 設置準備指示		/19 電話による 情報提供の役割		
免散外来	4/28 設置準備指示	5/22 患者発生が少数 → 発熱外来継続 5/22 急速に患者数増加する地域 → 一般医療機関での診療可	6/19 原則、全医療機関 で診療	10/1 公共施設 <sup>を</sup> 以外の場所で	
入院措置	当族患者は 人院勧告の手続き	5/22 患者発生が少数の地域 → 入院措置 5/22 急速に患者数増加する地域 → 感染確定患者は、原則自宅療養 基礎疾患を有する者等は、初期症状 軽微であっても優先して入院治療		10/1 重症患者 え、都道府県は 制の状況を把握 者、小児、妊婦 搬送・受入体制	:、医療提供体 置する。 透析感 等の重症者の
事務運輸÷ 通知等	4/29新型インフルエン・ 以外の疾患の患者に対 る医療を破除させないた め、「新型インフルエン ザの診療を原則行れ ない医療機関の指定	す 徹底について」	8/28 「新型インフルエ 数の増加に向けた医療 の確保等について」 9/11,25 「新型インフルコ る医療体制に関する調査	:提供体制 フ 症 提 エンザに係	/16 「わが国における新型イン ルエンザA(H1N1) 感染による重 例の臨床的特徴について(情報 供)」 11/20 「新型インフルエンザ の発生動向~医療従事者向
発生動向	に伴う医療体制整備 ついて」を発出した 5/9	接疫で初の補足	いて」 8/15 国内最初の死亡 8/28 国内流行人		<b>け疫学情報~」</b> 95

## 医療体制に関するガイドライン



### 新型インフルエンザの流行シナリオ(21年8月末の通知で提示したもの)

	中位設定	高位設定	※ 各都道府県において医療体制を確	
発症率	20%	30%	保するための参考として示す仮定の	
入院率	1.5%	2.5%	流行シナリオであり、実際の流行予測	
重症化率	0.15%	0.5%	を行ったものではない。	
ر 000008	ピーク時の外来患者数		80000	
600000	76万人		ピーク時の入院患者数 <sup>*</sup> 約4万6千人 - 60000	
000000		/ X	00000	
400000	新規の罹患者数		入院している患者数 40000	
200000	(左軸)		(右軸) - 20000	
200000				
0 1			0	
第 1 派	123456	第 第 第 第 第 7 8 9 1 週 週 週 0	<ul><li>第 第 第 第 第 第 第 第</li><li>1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</li></ul>	

### 大規模な流行が生じた場合に備えた医療体制

### 《課題》

- 1. 重症患者数の増加に対応できる病床等の確保
- 2. 重症患者の救命を最優先とする診療体制の充実
- 3. 基礎疾患を有する者等の感染防止対策の強化



- 罹患率や重症化率等を内容とする「新型インフルエンザの流行 シナリオ」の提供や、医療提供体制の確保・取扱に関する情報提 供を行い、都道府県の対応を支援
- 都道府県、関係団体等に対し具体的な取り組みを要請

### 大規模な流行が生じた場合に備えた医療体制

### 1. 重症患者数の増加に対応できる病床等の確保

- 都道府県における重症患者の発生数等について検討 (新型インフルエンザの流行シナリオを示し、地域別の推計方法を提示)
- 都道府県における医療提供体制について確認 (外来医療体制、入院診療医療機関の病床数、人工呼吸器保有台数等)
- 〇 上記の状況を比較し、地域の実情に応じた対策を検討

### 2. 重症患者の救命を最優先とする診療体制の充実

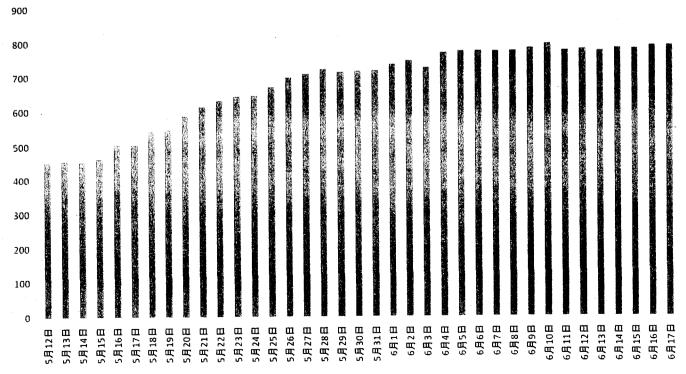
- 外来医療の確保 (電話相談事業の拡充、住民への啓発、診療時間延長など診療所との連携)
- 入院医療の確保 (定員超過の取扱い明確化、受入体制の把握と調整、妊婦等の重症者の受入体制の把握と 環、県境を越えて搬送・受入を行う場合の調整)
- 医療機関、医療従事者等への情報提供 (院内感染対策の徹底、新型インフルエンザ診療の考え方・症例集等)

### 3. 基礎疾患を有する者等の感染防止対策の強化

○ 院内感染対策の徹底 (医療従事者向けガイドライン、基礎疾患を有する者等を対象とした手引きの作成)

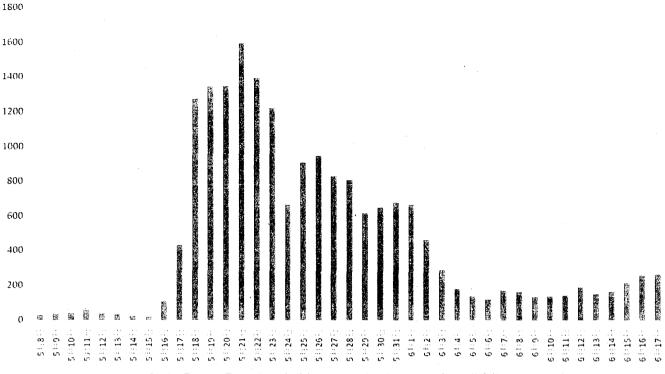
99

### 発熱外来設置箇所数の推移(平成21年5月~6月)



※ 平成21年5月12日~6月17日までに都道府県から厚生労働省に対して行われた報告数を積み上げたもの(設置予定は含まない)

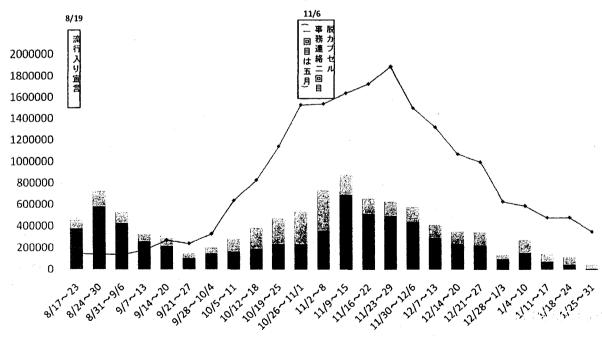
#### 発熱外来受診患者数の推移(平成21年5月~6月)



※ 平成21年5月8日~6月17日までに都道府県から厚生労働省に対して行われた報告数を積み上げたもの

23.00

### 抗インフルエンザウイルス薬の供給量と推定患者数の推移

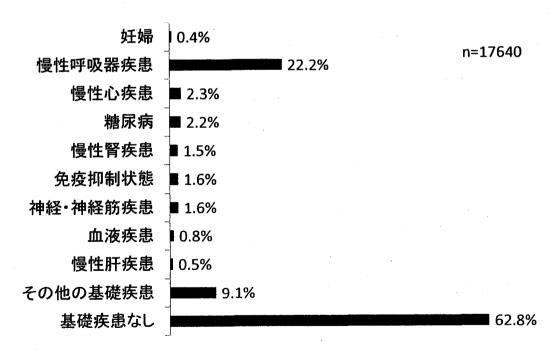


- ■タミフルカプセル(人数分換算) リレンザ(人数分換算)
- ☞タミフルドライシロップ(人数分換算)
- →定点(推定患者数)

出典:メーカー報告

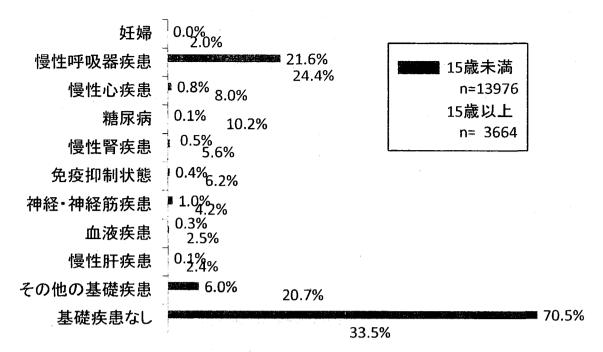
#### 45.00 1400 推計累積患者数 39.63 40.00 約2068万人 1200 35.00 来 30.00 1000 患 (人工呼吸器装着/脳症/ICU入室) 25.00 800 752 数 20.00 600 15.00 400 10.00 200 5.00 0.00 10/5-10/11 10/12-10/18 10/26-11/1 11/2-11/8 11/9-11/15 11/23-11/29 11/30-12/6 12/7-12/13 12/14-12/20 12/21-12/21 12/28-1/3 8/31-9/6 9/14-9/20 9/28-10/4 10/19-10/25 1/26-1/31

感染症発生動向調査インフルエンザ定点医療機関における週あたりの外来患者報告数



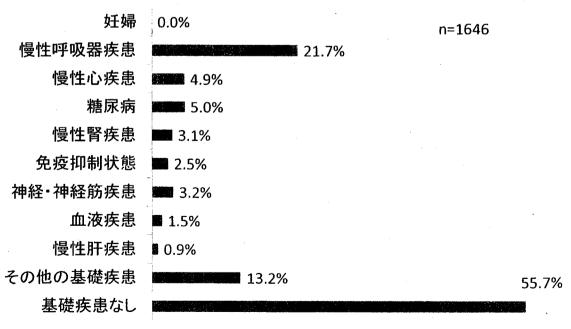
### 入院患者における疾患群別の 基礎疾患保有率(重複あり)

平成22年3月23日の報告まで/厚生労働省

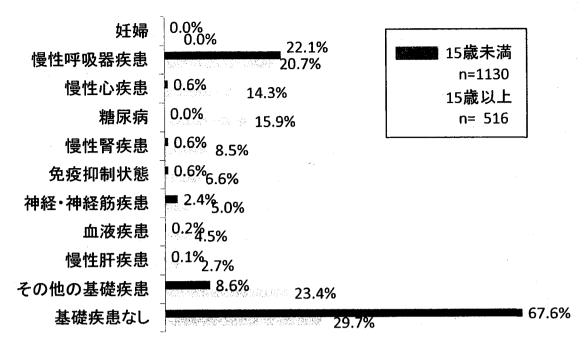


# 年齢階級別入院患者における疾患群別の基礎疾患保有率(重複あり)

平成22年3月23日の報告まで/厚生労働省



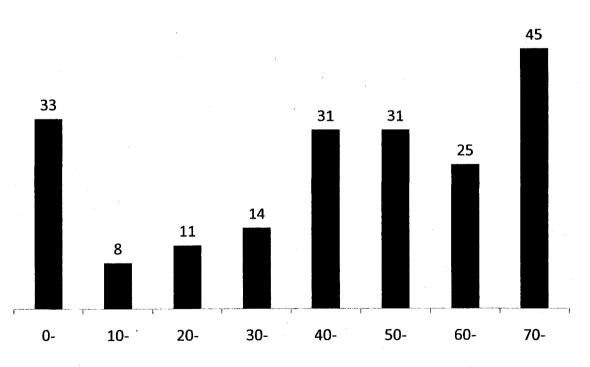
### 重症患者における疾患群別の 基礎疾患保有率(重複あり)



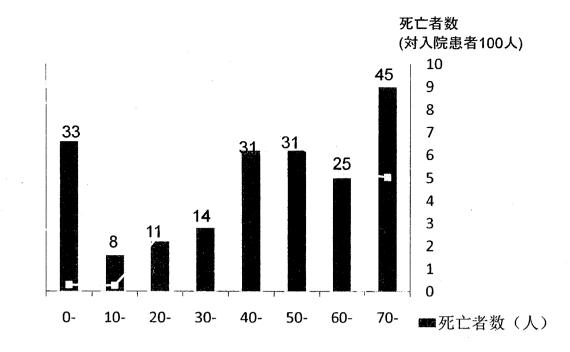
### 年齢階級別重症患者における疾患群別の 基礎疾患保有率(重複あり)

平成22年3月23日の報告まで/厚生労働省

107



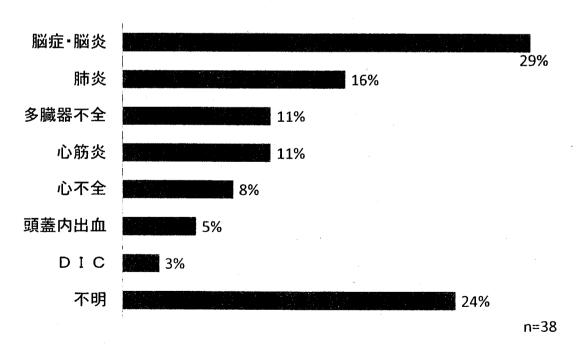
年齢階級別にみた死亡者数



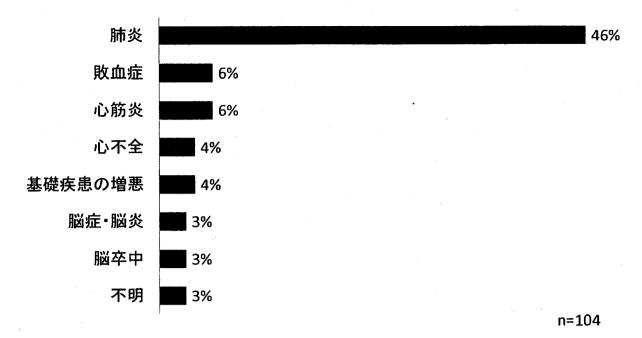
### 入院患者100人当たりの年齢階級別死亡数

平成22年3月23日の報告まで/厚生労働省

109



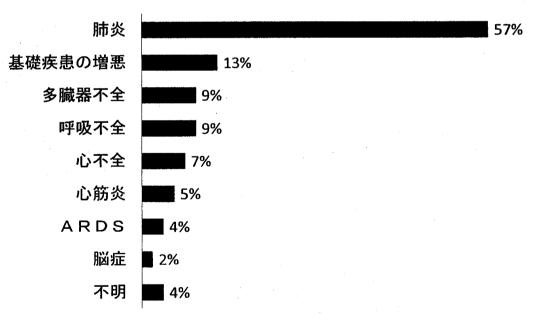
小児(15歳未満)における死因(重複あり)



### 15歳以上65歳未満における死因(重複あり)

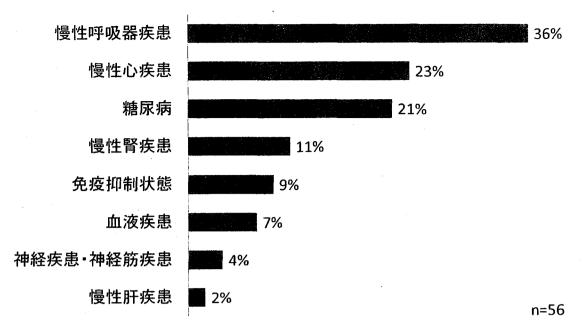
平成22年3月23日の報告まで/厚生労働省

111



n=56

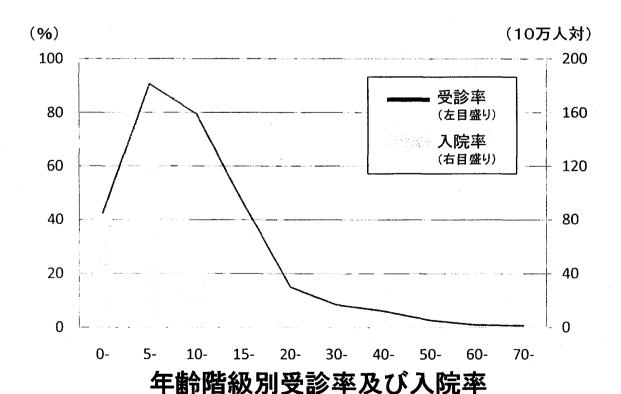
### 高齢者(65歳以上)における死因(重複あり)



### 高齢者(65歳以上)死亡例の基礎疾患(重複あり)

平成22年3月23日の報告まで/厚生労働省

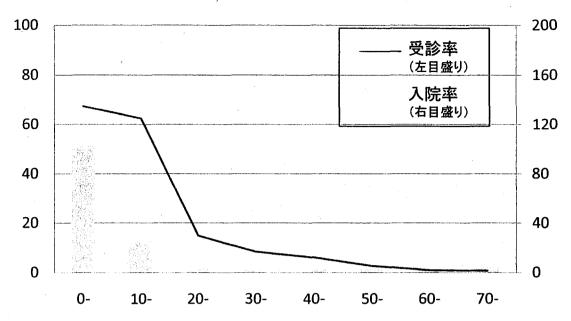
112



(年齢階級別人口当たり)

平成21年8月3日から平成22年3月16日の報告まで/厚生労働省

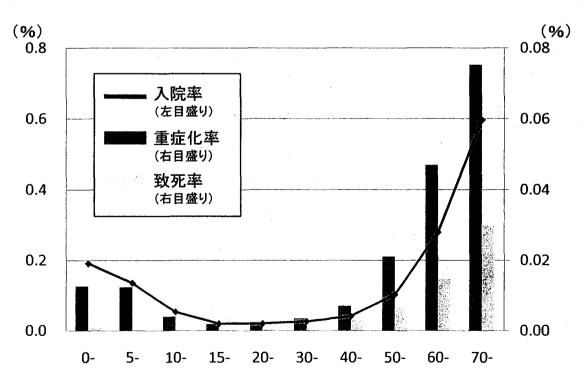
(%) (10万人対)



年齢階級別受診率及び入院率 (年齢階級別人口当たり)

平成21年8月3日から平成22年3月16日の報告まで/厚生労働省

115



年齢階級別入院率、重症化率及び致死率 (推定受診者100人当たり)

平成21年8月3日から平成22年3月16日の報告まで/厚生労働省

# 抗インフルエンザウイルス薬の備蓄① オセルタミビル(*タミフル*®)

平成 年度	政府 <b>備蕃</b> 予算措置		都道府県備蓄 (地方財政措置)	
17年度	当初 7.2万人分 1.6億円 補正 742.8万人分 162億円	257万人分	<del>-</del>	
18年度	補正 300万人分 72億円 予備費 300万人分 68億円	1,093万人分	18年度~19年度	
19年度	_	. · · · <u>-</u>	1,050万人分	
20年度	補正 1,330万人分 347億円	500万人分	· –	
21年度	_	1,150万人分	21年度~23年度 1,330万人分	
合計	651億円	3,000万人分	2,380万人分	

# 抗インフルエンザウイルス薬の備蓄② サナミビル(*リレンザ®*)

率成 *年度		政府備蓄。 予算措置	備蓄量	都道府県備蓄 (地方財政措置)
18年度	当初 補正	30万人分 9.1億円 30万人分 8.3億円	42万人分	_
19年度	補正	75万人分 22億円	93万人分	
20年度	補正	133万人分 39億円		_
21年度		_	165万人分	21年度~23年度 133万人分
合計		78億円	300万人分	133万人分